

この一球に想いを込めて…

平成 27 年度 第 24 回若汐杯中学生ソフトボール大会

去る、平成 27 年 5 月 3 日・4 日の両日。

塩竈市玉川中学校グラウンドで中学校総合体育大会、いわゆる中総体の前哨戦であるこの大会が開かれました。

参加チーム数は利府や多賀城、富谷など近隣の市町村の 12 チーム、塩釜からは玉川中学校と第一中学校が参加です。3 チーム 4 ブロックに分かれての総当たり戦をした結果をもとに、次の日のブロックが決まるのです。

1 日目、玉川中は富谷中・日吉台中と、塩一中は利府中・大郷中と試合をし、どちらも一勝一敗で、2 日目の 2 位ブロックに挑みます。

2 位ブロックでは 1 回戦で塩一中が大和中に 5-3 で敗退し、玉川中は多賀城に 11-2 で勝利したものの、続く 2 回戦で大和中に敗れました。

今回の口惜しさをバネに中総体での活躍を期待しています！！

～試合結果～

| | |
|-------|-------|
| 優勝 | 富谷中学校 |
| 準優勝 | 松島中学校 |
| 第 3 位 | 利府中学校 |



新緑の浦戸を歩く

浦戸島めぐり
ウォーキング

去る平成二十七年五月二十四日、塩釜市体育協会主催の「浦戸島めぐりウォーキング」が開催され、三十六名の方が参加しました。

天候がとても良く、少し暑いくらいでしたが、島を吹き抜ける心地よい風が、参加者に爽やかな春の香りを運び、絶好のウォーキング日和となりました。

寒風沢をスタートし、野々島・石浜を通って、最終目的地は桂島の約五キロのウォーキング。参加者は浦戸諸島の歴史ある史跡や豊かな自然を満喫しました。

昼食では、あさり汁が振舞われ、疲労回復効果が期待できるあさりを美味しく食べる参加者の姿が見られました。

これは寒風沢島に伝わる民話です。

ある晩のこと道を歩いていると何処からか「鼻い鼻い鼻い」で「え」という恐ろしい声が聞こえてきました。島のおばあさんに聞くとそれは浜の神で、出てくるのには理由があると教えてくれました。そこで理由を探るべく、五人の子どもが立ち上がります。

真夜中に集まり、声のするもとやしきはまの方に近づくと、白い煙のようなものが、辺りを漂っていました。

どんだん ばさばさ ばっさばさ

「ばさ」とおばあさんに教えてもらった呪文を唱えると、大きな音とともに浜の神が落ちてきました。

子ども達が近づいてみると、そこにあったのは、壊れた下駄や、ボロボロになった蓑などでした。それは全て、もとやしきはまに打ち上げられたゴミであったのです。

ゴミがあまりにもたくさんあったので、怒った浜の神が大人たちに知らせたのでした。さて皆さん、辺りを見回してみてください。散らかしていませんか？



参加者からは、島々から見る景色の素晴らしさに感動し、また参加したいとの声も頂きました。日常とは違った、ゆったりと流れる島時間を皆さんも体験してみませんか？

競技に触れ 楽しさを知る

～小学生
バドミントン講習会～



去る平成 27 年 4 月 18 日、塩竈市教育委員会主催で小学生バドミントン講習会が開かれました。

当日は絶好のお花見日和にもかかわらず、小学生 55 名が塩釜ガス体育館・第一競技場に集結。塩釜市バドミントン協会の方に手ほどきを受けながら、真剣にバドミントンに取り組む姿が見られました。

逸る気持ちを抑えながら、準備体操・自己紹介をした後、まずは先生たちが実際にお手本となって、シャトルを打つ姿を見せてくれました。

先生が打つと「パシュ！」と小気味いい音が競技場内に響きます。一見、簡単に打っているように見えますが、実際シャトルをラケット面に当てるのは難しいもので、この音はやはり日々の練習があってこそなのです。



その後は各学年に分かれて指導を受けました。バドミントンの基礎である、グリップの握り方・素振り・ノック、最後にはゲームと盛りだくさんの内容です。

グリップの握り方にも種類があることに驚いたり、ぎこちないながらも素振りに取り組んだり、ノックが返せたときには素直に喜びなど、とても有意義な時間を過ごせたことでしょう。

参加した小学生からは「色々な技を教えていただきありがとうございました。今度バドミントンをするときに思い出してやりたい」や「今日、学んだことをいっぱい練習して出来るようになりたいです」などの喜びの感想を頂きました。

今回の講習会でバドミントンの楽しさを覚えた子どもの中から、未来のオグシオ・スエマエが誕生するかもしれませんね。

おらほの☆お元気さん



滝川 彦太郎さん (73歳)
プール歴 約20年

子どもの頃はプールなんてなかったですから、泳ぎは海で覚えました。温水プールが出来てからはプールに来るようになりました。長年通っていると、だんだんと顔見知りが増え、気が付けば友達になっていました。

定期的に活動してはいませんが、「塩釜マスタース」という水泳のグループに属し、年に一度のマスタース水泳大会に出場しています。六〇歳以上を中心とするスポーツと文化の祭典である、ねんりんピックにも二度出場したこともあります。

また、水泳することながら、朝起きて必ずする約一キロのウォーキングも一日の流れには欠かせません。朝の清々しい空気を吸いながら自分のペースで歩くのは本当に気持ちがいいものです。



私の健康の秘訣は朝のウォーキングと午後の水泳と言っても過言ではないでしょう。これからも生涯現役でいられるように、この二つを続けたいと思います。

塩竈さくらウォーキング 番外編

神社裏坂にひっそりと佇む

塩竈神社裏坂の階段を登り始めるとすぐに、左手に小道があります。

その小道の奥に、ひっそりと佇むのは「和洋併置式住宅」といって日本建築と西洋建築が合わさって建てられている、亀井邸です。総合商社カメイ(株)の初代社長が約九〇年も前に建てた、有名な建物です。

家の中に足を踏み入れた瞬間、大正時代にタイムスリップしたかのような錯覚に陥ります。



砂磨りガラスを用いた雪見障子や社章である「こうもり」のモチーフの取手など遊び心が満載。大正時代の息吹を感じながらの昼食。少し贅沢な時間でした。

神が使った釜が眠る...



今回のウォーキングでは予定になかったものの、コース上、通るといふことで御釜神社に寄り道しました。また同行していたガイドさんからは御釜神社に纏わるお話を聞くことが出来ました。

ここにはその後、塩竈神社に祀られることになる塩土老翁神が、塩づくりの時に使った釜が、眠っているのです。

ある日、大学の教授が調べにきました。調べたくても御釜自体が神様になってしまっている、手をかけられなかつたという逸話もあります。また、釜に張つてある水が変色する時は何かが起こる前触れともいわれ、東日本大震災の時も変色したそう。

知識の泉

うるう秒って知ってる？



以前、時間は1日の長さに基づいて決められていました(世界時)。技術が進歩するに従って正確な時間が測定

できるようになると、地球の回転速度にはムラがあり、必ずしも一定ではないことが分かりました(原子時)。

そして、その世界時と原子時のズレを正すために設けられているのがうるう秒です。

今回は7月1日の午前8時59分59秒と午前9時00分00秒の間に8時59分60秒が挿入され時報が2回なるそうですよ。

広報委員会こぼれ話

広報委員会の打合せでは、毎回面白いことが話題に上ります。今回は、剣道競技のルールについて非常に興味深い話がありましたので紹介します。

1. ガッツポーズをしてはいけません

剣道はいつでも真剣勝負。最後まで気を抜かないという姿勢を表さなければならぬことや、全力で戦った相手に対する礼儀という意味から、ガッツポーズはNG。例え一本をとった後でもガッツポーズをしまうと、その一本は無効になったり、最悪の場合は、退場を勧告されるほど厳しいのです。

2. 後ろから打ち込んではいけません

激しいぶつかり合いの中で相手の背中が見える体勢になることがしばしばありますが、相手の後ろから打ちこむのは、正々堂々と正面から戦っていないことになるので、暗黙うちにNGとなっています。

3. 道具には先人たちの教えが息づく

竹刀の節の数や袴のヒダの数が5であるのは、五徳(仁義礼智信)や五穀豊穡の願いが込められていると言われています。

さて今回のこぼれ話は、いかがだったでしょうか？この他にも知らないルールがまだまだありそうですが残りは自身で調べてみてくださいね。



編集後記

桜の季節が終わり風薫る六月がやってきました。皆さん、衣替えはお済ですか？梅雨に入ってから衣替えは、湿気も一緒にタンスにしまつてしまふ恐れがあるので、天気の良い日に行うのがベストです。

タンスの中がすっきりしたら、自分の心もすっきり出来るように、体育館・プールで運動しませんか？

PEN☆Y

編集・発行
特定非営利活動法人 塩釜市体育協会
塩竈市温水プール(ユープル)内
住所 〒985-0006 宮城県塩竈市字杉の入裏 39-173
電話 022-363-4501 FAX 022-366-0281
E-MAIL pool@npo-shiogama-taikyo.or.jp
URL http://www.npo-shiogama-taikyo.or.jp/